

北九州市議会

議会報告会

決算特別委員会の構成



決算特別委員会



3

決算特別委員会 役職者

委員長 森 浩明

副委員長 本田 忠弘

第1分科会:主査 荒川 徹

副主査:木畑 広宣

第2分科会:主査 佐藤 茂

副主査:八記 博春

第3分科会:主査 奥村 直樹

副主査:宮崎 吉輝

4

第5回議会報告会 プログラム

- 1. 平成24年度決算の概要(報告者:森 浩明)
- 2. 第1分科会審査報告(報告者:荒川 徹、木畑 広宣)
- 3. 第2分科会審査報告(報告者:佐藤 茂、八記 博春)
- 4. 第3分科会審査報告(報告者:奥村 直樹、宮崎 吉輝)
- 5. 質疑応答
- 6. 意見交換

5

平成24年度決算特別委員会

概要及び審査結果報告

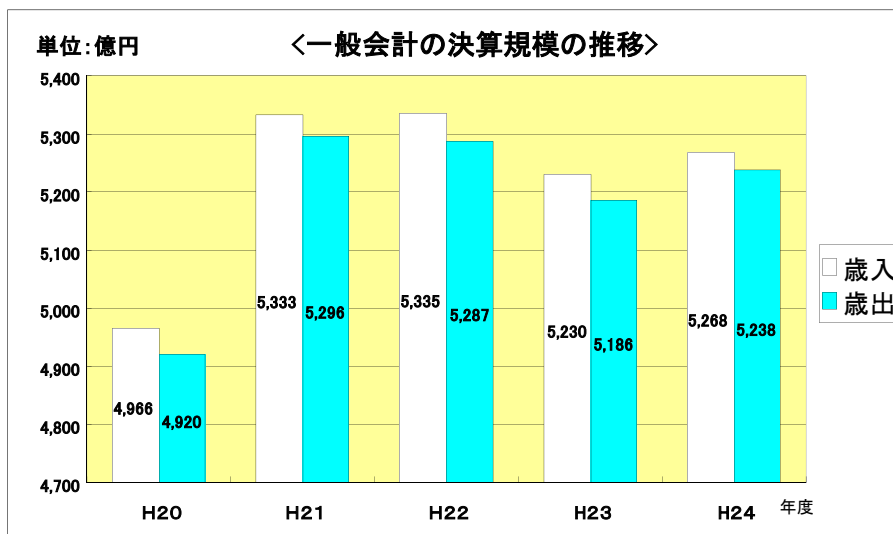
報告者：森 浩明議員

6

- 歳入・歳出について
- 基金について
- 市債残高について
- 収支改善の取り組みについて

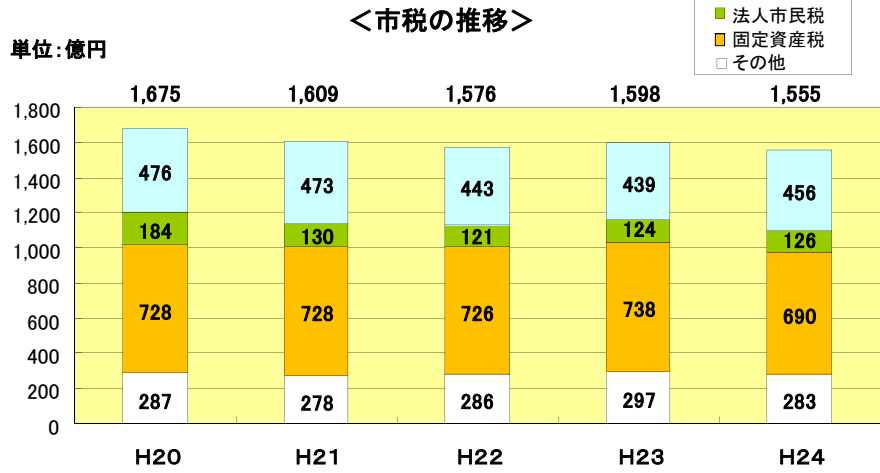
7

歳入・歳出について

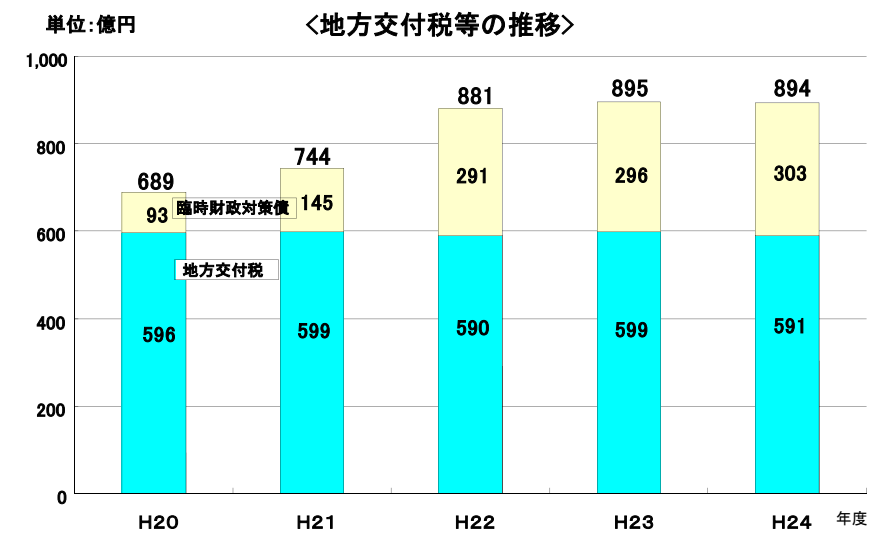


8

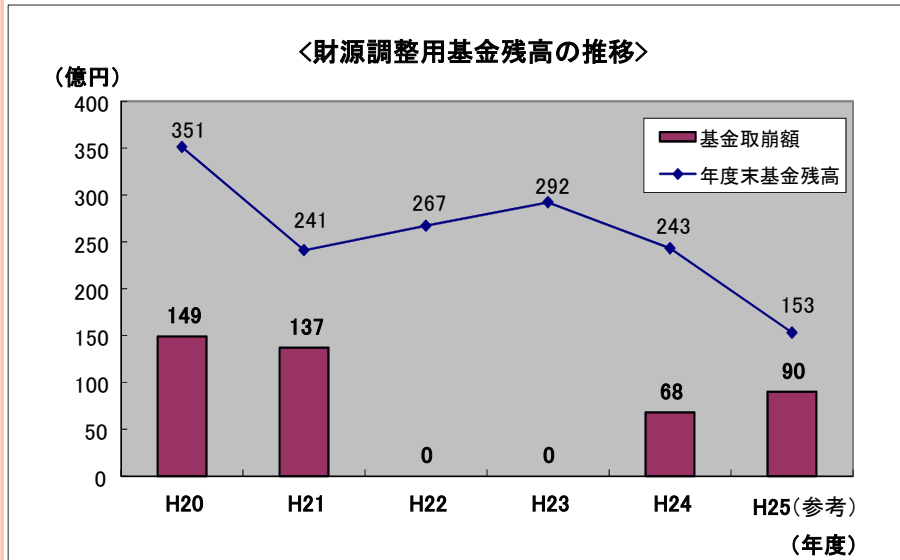
歳入・歳出について



歳入・歳出について

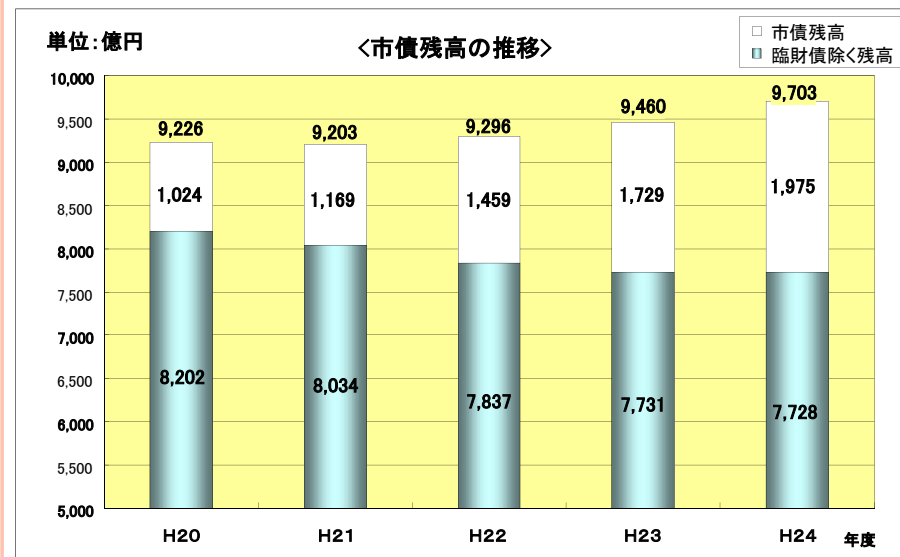


基金について



11

市債残高について



12

収支改善の取組みについて

効果額は一般財源ベース(単位:億円)

区 分	効果額	備 考
歳 入	貸付金の繰上償還	4 ・工業用水道事業会計等への貸付金の繰上償還
	特別会計の剰余金の活用	1 ・中央卸売市場特別会計等の剰余金の活用
	国庫補助金の活用	12 ・コムシティ改修事業への社会資本整備総合交付金の活用等
	広告収入等による収入の確保	5 ・ネーミングライツ等広告収入 ・西折尾地区等住環境整備事業における分譲地の早期売払い
小 計	22	
歳 出	職員数の削減	8 ・人件費の削減
	事務事業の見直し	16 ・行政評価、棚卸しによる事務事業の見直し ・指定管理者制度導入の推進
	小 計	24
平成24年度における収支改善額	46	

13

平成24年度決算特別委員会

第1分科会審査報告

報告者：荒川議員・木畑議員

14

1. 老朽（危険）家屋対策について
2. ギラヴァンツ北九州への支援と新球技場建設について
3. 防犯灯設置及び維持管理について

15

1. 老朽（危険）家屋対策について



16

老朽危険家屋等除却促進事業

補助対象建築物

- 1、昭和35年以前に建築された建物
- 2、建物の除却に必要な車両及び建設機械の使用が困難なため人力による解体しかできない建物

※通常と比べて割高となる除却費の一部を助成する。

17

平成24年度決算

補助金交付 **27件(目標50件)**
執行額 **1、450万円(事業費4、000万円)**
予算執行率 **36%**



18

議員の質問(要旨)

- ◆対象条件を拡大し、積極的な広報を行い除却件数を増やすことにより市民の問題意識を喚起すべき。
- ◆空き家対策検討委員会が基準についても検討するとしているが、その判断を待つまでもなく直ちに基準を見直し、市民がより申請しやすくすべき。

19

当局の答弁(要旨)

- ◆空き家対策検討委員会にて「老朽家屋等除却促進事業」について効果的な対策を議論しており昭和35年以前建築の家屋との要件見直しを含め、より使いやすいものへ改善していきたい。
- ◆市民、解体業者、建築・住宅事業者等に積極的にPRし、制度の利用促進の意識啓発に努めたい。

20

2. ギラヴァンツ北九州への支援と新球技場建設について



21

議員の質問(要旨)

ギラヴァンツ北九州支援について

◆厳しい財政状況の中

補助金
6,000万円

ホームタウン推進事業
約5,400万円

合計 約1億1,400万円支出した。



22

- ◆プロスポーツクラブである以上、自立した経営努力とともに、市として支援のあり方を他のチーム状況を踏まえて見直す時期ではないか。



23

当局の答弁(要旨)

ギラヴァンツ北九州支援について



- ◆球団の総収入は3年間で約4割伸び、支援の輪は着実に広がっている。
- ◆Jリーグで安定的な活動を続けていくためには現時点では、継続的な支援が必要。
- ◆クラブが自立できるよう、協力して取り組んでまいる。

24

議員の質問(要旨)

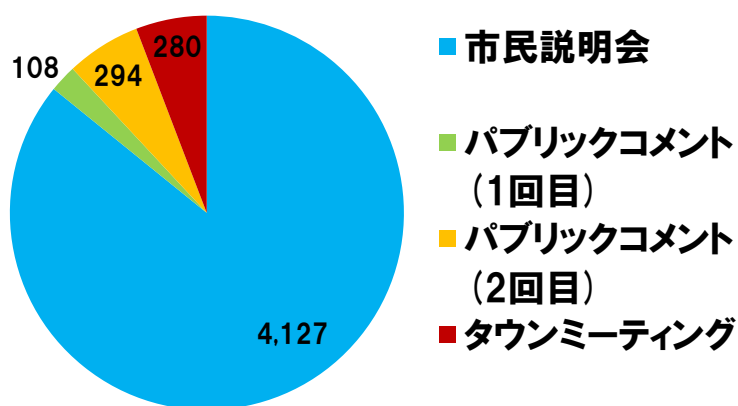
新球技場建設について



- ◆円滑な合意の前提は、徹底した市民説明会の開催にある。
- ◆厳しい財政状況の中、時期尚早ではないか。

25

市民参加人数(H25. 8時点)



合計数:4,809人

26

当局の答弁(要旨)

新球技場建設について

- ◆二度立ち止まって、市民・議会の声をよく聞いて進めるとの基本姿勢で臨んできた。
- ◆今後とも、市民への丁寧な説明や情報提供に努めたい。
- ◆JR小倉駅新幹線口エリアを拠点としたまちのにぎわい創出を図っていきたい。

27

3. 防犯灯設置及び維持管理について



28

(1) 市内に設置されている防犯灯の数
 (2) LED化された防犯灯の数とLED化率

設置区分	市内設置の防犯灯数	LED化灯数及び率の累計		
		平成23年度	平成24年度	平成25年度
自治会設置	53,000灯	5,309灯 (10.0%)	13,249灯 (25.0%)	20,249灯 (38.2%)
市設置	15,000灯	1,622灯 (10.8%)	3,592灯 (23.9%)	5,092灯 (33.9%)
合計	68,000灯	6,931灯 (10.2%)	16,841灯 (24.8%)	25,341灯 (37.2%)

※平成23,24年度のLED化灯数は実績ベース。平成25年灯数は予算ベース。

(3) 防犯灯の年間の維持管理費とその内訳（1灯当たり）

内容	LED灯	蛍光灯
① 年間維持費	約1,900円	約3,600円
うち電気代	約1,900円※	約2,700円
うち電球換え等	—	約900円（年平均）
② 市からの補助金	1,100円	1,800円
③ 地元の負担額 （①－②）	約800円	約1,800円

※LED灯の電気代は、20ワット以下契約の場合

(4) 防犯灯の設置費用（1灯当り・添架灯の場合）

区 分	設置費用	本市の補助			地域の負担	備考
		時期	補助率	補助上限額		
LED灯	25,000円程度	—	3/4※	18,400円	6,000円～7,000円	※LED化にあたり、地元の負担が増えないよう、H23.7から補助率を2/3から3/4に引き上げた。
蛍光灯	19,500円程度	～H23.6	2/3	13,000円	6,000円～7,000円	
		H23.7～	1/2	8,500円	約11,000円	

31

議員の質問（要旨）

- ◆防犯灯の設置や維持管理費及びLED灯への変更費用を市内世帯数の約70%の自治会が負担していることの不公平性がある。



32

◆LED化だけでも市が全額負担とすべきである。

◆自治会に加入していない市民は防犯灯の自治会負担の認識が薄いため、市政だよりや市広報テレビ等を通じて、自治会加入促進を積極的に広報すべきである。

33

当局の答弁(要旨)

◆市民一人一人が高い防犯意識を持つことが大切。

◆防犯活動促進の観点からLED化経費について地域に引き続き一定の負担をお願いしたい。

◆自治会が防犯灯の設置・管理の経費を負担していることや、自治会の防犯活動を広報媒体等を活用して積極的に知らせていく。

34

平成24年度決算特別委員会

第2分科会審査報告

報告者：佐藤茂議員・八記博春議員

35

1. 敬老祝金について

2. ゴミ出しマナーの
ルール化について

3. 生活保護行政について

36

1. 敬老祝金について



結び合う ちから 未来へ 響きあう

37

議員の質問(要旨)

平成24年度決算
敬老祝金：約2億4千万円

このまま継続すれば、年間3億円以上の試算

見直しの必要が
あるのでは？

38

市長並びに当局の答弁(要旨)

- ◆民生委員及び区職員が9月中に1人1人に手渡している。
業務的、財政的に課題がある。
- ◆20政令市中、9市は支給していない。
- ◆支給している政令市も支給金額対象者を見直している。

今後、何らかの見直しが必要

39

敬老祝金の政令市比較

自治体	支給総額	年齢別の支給内容				支給対象者数
		70代	80代	90代	100歳以上	
北九州	2億5200万円	1万円 (77歳)	2万円 (88歳)	3万円 (99歳)	5万円	約1万6千人
福岡	1億9600万円	—	1万円 (80歳) 2万円 (88歳)	—	3万円 (100歳) 1万円 (101歳以上)	約1万4千人
千葉	1億7600万円	1万円 (77歳)	3万円 (88歳)	5万円 (99歳)	—	1万1087人
仙台	4400万円	—	1万円 (88歳)	—	5万円 (100歳)	3492人

※金額横の()内は支給年齢。

※札幌、横浜、川崎、新潟、京都、大阪、堺、岡山、熊本

9政令市は支給なし。

40

敬老祝金対象者数の推移推計(試算)

■対象者数

	平成26年度	平成31年度	平成36年度
77歳	10,863人	11,268人	11,907人
88歳	4,773人	5,270人	5,758人
99歳	390人	487人	622人
100歳	291人	335人	403人
101歳以上	517人	545人	710人
合計	16,834人	18,253人	19,400人

41

敬老祝金支給額の推移推計(試算)

■支給額(77歳:1万円、88歳:2万円、99歳:3万円、100歳以上:5万円)

	平成26年度	平成31年度	平成36年度
77歳	1億900万円	1億1,300万円	1億2,000万円
88歳	9,600万円	1億1,300万円	1億1,600万円
99歳	1,200万円	1,500万円	1,900万円
100歳	1,500万円	1,700万円	2,100万円
101歳以上	2,600万円	2,800万円	3,600万円
合計	2億5,700万円	2億8,400万円	3億900万円

42

2. ゴミ出しマナーの ルール化について



防鳥ネットのないごみ置き場



防鳥ネットのあるごみ置き場

43

「ごみ出しのルール」の現状

ごみ出しのルール（収集日、回数、場所）の決定

- ・告知等で決められているので、実効性はない。

ごみ出しルールの努力義務

- ・条例（モラル条例）で決められているが、実効性はない。

市へごみ行政への協力

- ・条例（廃棄物条例）で決められているが、実効性はない。

マンション、アパートのごみ置場設置基準

- ・要綱で決められているので、実効性はない。

市民の
義務では
ない！

44

議員の質問(要旨)

現在のごみ出しマナーのルール

必要な内容

法的な効力

45

市長並びに当局の答弁(要旨)

- ◆市内3万4,000箇所全てのステーションに実態調査を行っている。
 - ・カラス被害の実態
 - ・防鳥ネットなどの対策の状況
 - ・事業系ゴミの排出状況
- ◆ゴミの散乱があるステーション周辺の市民の意見要望を聞く
- ◆千葉市や横浜市では、違反者に行政罰である過料を課している。

総合的な視点から検討したい

46

3. 生活保護行政について

47

議員の質問(要旨)

- ・憲法25条「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」

この規定により、生活困窮者は速やかに救済すべきだ。

- ・しかし、生活保護を受けながら、ギャンブルをするという不適切な状況が増加している。
- ・そうしたことに対し、専門家による更なる指導体制強化策を図るべきだ。

48

当局の答弁(要旨)

- 生活保護受給者がギャンブルを行うことは、生活に支障をきたすことのない範囲であれば、制限することは難しい。
- しかしながら、ギャンブルに興じ、最低生活が維持できなくなることは、法の目的を大きく逸脱することになり、厳しく対処しなければならない。
- 特に、ギャンブル依存症を含めたケースについては、臨床心理士などの支援と、依存の程度が深刻で、本人が治療に前向きである場合は、民間の専門機関につなぐなどの支援に取り組んでいきたい。

49

生活保護の額(1) (出典：保健福祉局)

- ・ 生活保護の決算額 458億9000万円
- ・ 不正受給の金額 2億4102万円
- ・ 不正受給の件数 635件
- ・ 不正受給の割合(金額) 0.5%
- ・ 過去10年間の不正受給の告発件数
(特に悪質なものを刑事告発) 9件

50

生活保護の額(2)

(出典：保健福祉局)

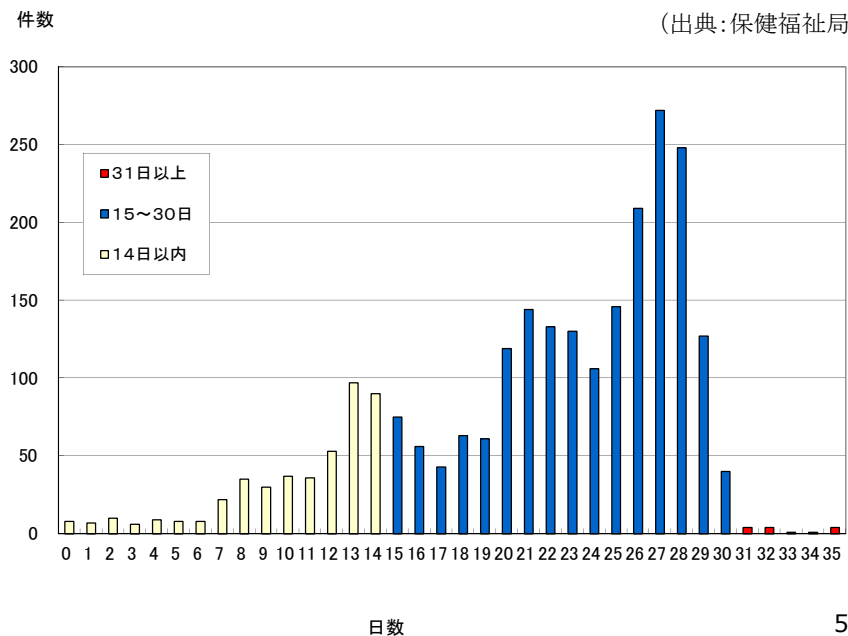
- 医療扶助適正化事業の効果額
(医療関係不適正額)：2億4900万円

- 医療扶助適正化事業のための予算額
(医療関係調査費用)：1億1268万円

51

生活保護の申請から決定日まで(平成24年度)

(出典：保健福祉局)



52

市長並びに当局の答弁

- 調査は、適正な保護の実施のため、収入・資産調査、稼働能力調査、扶養義務調査等、幅広い分野における調査を行っている。
- 急迫の場合には、14日以内に決定している。決定が遅れる場合には、生活資金の貸付を行う等の配慮を行っている。
- 今後とも、慎重かつ迅速に生活保護の決定ができるよう努めていきたい。

53

議員の要望

- 扶養義務者の確認は、不正受給の問題ではなく、困窮している市民に対して、法律で定められた期日までに、行政が事務処理を行うかどうかの問題であり、改善を求める。

54

平成24年度決算特別委員会

第3分科会審査報告

報告者：奥村直樹議員・宮崎吉輝議員

55

○クルーズ客船の誘致について

○学力向上について

56

クルーズ客船の誘致について

○議員質疑の要旨

- ①クルーズ客船誘致活動の現状について
- ②外国クルーズ客船寄港に関する北九州港と博多港の比較について
- ③クルーズ客船誘致に関する今後の具体的提案について

57

①クルーズ客船誘致活動の現状について

○市長答弁の要旨

- 平成23年度にクルーズ客船誘致専門の担当職員を配置
- 地域住民や地産地消の関係者などの協力を得て歓迎活動を実施

58

②外国クルーズ客船寄港に関する北九州港と博多港の比較について

○外国クルーズ客船の寄港数比較

	北九州市	福岡市
平成24年	0件 ↑	85件 ↑
平成19年	0件	0件
平成24年（国内）	0件	27件

59

②外国クルーズ客船寄港に関する北九州港と博多港の比較について

○市長答弁の要旨

- 「門司港」の不利な点・・・
関門海峡の潮流が非常に速いこと
- 「博多港」の有利な点・・・
大型商業施設が近接していること

○議員提案・要望の要旨

- 小倉港や若松港の活用
- 更に大型の船が入港できるよう港の改良
- 北九州市の商業施設をPR

60

③クルーズ客船誘致に関する今後の具体的提案について

○市長答弁の要旨

- 海外への働きかけ
- トップセールス
- 欧米からの観光客のニーズに合わせた誘致活動

61

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会

学力向上について



62

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会

(1) 平成25年度 福岡県内地区別平均正答率

〈小学校6年生〉

14.3ポイント

地域等	国語A	国語B	算数A	算数B	計
全国	62.7	49.4	77.2	58.4	247.7
本市	60.3	46.3	74.6	56.5	237.7
福岡市	64.1	51.2	77.3	59.4	252.0

〈中学校3年生〉

10.4ポイント

地域等	国語A	国語B	数学A	数学B	計
全国	76.4	67.4	63.7	41.5	249.0
本市	74.7	65.0	60.3	38.2	238.2
福岡市	76.8	68.1	62.7	41.0	248.6

63

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会

(2) 平成25年度全国学力・学習状況調査

平成25年度 全国学力・学習状況調査(小学校)

順位		国語A	国語B	算数A	算数B	総計
1	秋田県	71.7	59.1	82.8	67.1	280.7
22	福岡県	63.2	49.1	77.2	58.7	248.2
平均	全国	62.7	49.4	77.2	58.4	247.7
44	本市	60.3	46.3	74.6	56.5	237.7

平成25年度 全国学力・学習状況調査(中学校)

順位		国語A	国語B	数学A	数学B	総計
1	秋田県	81.9	74.6	68.9	47.5	272.9
平均	全国	76.4	67.4	63.7	41.5	249.0
37	福岡県	75.4	66.5	62.0	39.8	243.7
45	本市	74.7	65.0	60.3	38.2	238.2

64

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会

(3) 高知県の例

高知県の平均正答率は、全国平均との差を着実に改善

(平成19～21年度)

小学校 ほとんどの教科で全国平均以下

(平成25年度)

➡ 3教科で全国平均を上回る

中学校 全国平均を大きく下回る
(3教科が-8%以下)

➡ 全国平均との差が大きく改善
(-8%以下だった3教科は
それぞれ4～5%上昇)

65

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会

(3) 高知県の例

学力向上に向けた取組を進め
その成果は着実に表れている

- ◆ 授業や家庭学習で活用できる教材の作成・配布
- ◆ 放課後対策を充実し、補充学習を実施
- ◆ 高知県版学力調査の実施(小4.5, 中1.2)
による授業改善等の効果の検証

結果

- ◆ 放課後を活用した補充学習を行っている学校の割合が
全国に比べて多い
- ◆ 児童生徒の平日1日当たりの学習時間が増加

66

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会

議員の質疑(要旨)

- ◆放課後を活用した補充事業を徹底
- ◆児童生徒一人当たりの学習時間の増加
- ◆学力が向上した取り組みの推進

当局の答弁(要旨)

- ◆学力向上に成果をあげている自治体の分析
- ◆放課後の学習支援の仕組みについて検討

67

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会

議員の質疑(要旨)

- ◆持続可能な仕組みづくりに必要な予算を教育委員会に配分すること

市長の答弁(要旨)

- ◆最大限の努力をさせていただく

68

北九州市議会 平成24年度決算議会報告会